

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立南第三小学校

1. 本年度の全国学力・学習調査結果の学力の概要について

- ・対全国比の平均正答率は、国語、算数とも低くなっています。
- ・正答率が全国的に高い問題については、国語、算数とも良好な結果でした。
- ・国語については、特に「書くこと」や、短答式や記述式の問題で課題が見られました。条件に応じて文章を書く力を高めることが必要です。また、最後の2問は無解答率が高かったです。限られた時間で初見の文章を読み、内容を理解する力を身に付けられるよう、さまざまな文章を読む機会を増やす必要があります。
- ・算数については、特に「図形」と「データの活用」の領域について課題が見られました。伴って変わる二つの数量について表から変化の特徴を読み取る問題や、基礎の計算問題、四角形の特徴をもとに名前を書く問題では、良好な結果でした。

2. 各教科における成果と課題について

	成 果	課 題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類とその特徴について理解しているかや、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉えているかをみる問題は、多くの児童ができていました。 ・送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかをみる問題でも、多くの児童が正しく書いていました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを書くなど、記述式の問題で正答率が低く課題があります。 ・原因と結果など、情報と情報との関係について理解しているかをみる問題は、選択式でも正答率が低かったです。 ・漢字を文の中で正しく使うことができるかをみる問題で、同音異義語が多い熟語については、誤答が多かったです。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる二つの数量について、表の中の知りたい数を求める問題や、正方形の意味や性質について理解しているかをみる問題は、全国の正答率を上回り、多くの児童ができていました。 ・全国の正答率が高い問題については、本校でも正答率が高く、複数の教員による指導を積み上げてきた成果が見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・台形の意味や性質について理解しているかをみる問題や、二次元の表から条件に合う数を読み取る問題は、選択式でも正答率が低く、課題があります。 ・二つの数量が比例の関係にあるときの知りたい数量の求め方や、高さが等しい二つの三角形の面積の大小を判断した理由を記述する問題では、正答率が低かったです。

3. 児童質問紙調査の結果の概要について（肯定的評価の割合）

〈取組みの成果があらわれている、または特徴的であると思われる事項について〉

- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」という項目に、多くの児童が肯定的な回答をしました。「伝え合う力を向上させる授業づくり」という校内研究のテーマで、日々の授業において自分の考えを伝え合うことを大切にしてきた成果です。
- ・「算数の勉強は好きですか」や「算数の授業の内容はよく分かりますか」という項目で、肯定的な回答が全国や大阪府よりも高い結果でした。算数の授業を複数の教員で進めてきた成果です。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」や「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という項目で、全員が肯定的な回答をしました。教職員全体で生徒指導の意義を共通理解し、児童に働きかけてきた結果が表れていると考えます。

〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉

- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」といった家庭学習に関する項目で、肯定的な回答をした児童の割合は低かったです。
- ・「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」と「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という睡眠に関わる項目で、肯定的な回答が全国や大阪府よりも低い結果でした。
- ・「自分にはよいところがありますか」や「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という項目でも、肯定的な回答が低かったです。大人が一人ひとりの児童に丁寧に関わり、児童の自信を高める必要があります。
- ・ICT機器の活用に関する項目で、授業で使う頻度や授業以外で勉強のために使う頻度が少ないという結果でした。
- ・「将来の夢や目標を持っている」や「学校に行くのは楽しい」という項目で、肯定的な回答の割合が低かったです。

4. 成果と課題を踏まえた今後の取組みについて

- ・思考力と表現力を高めるため、日常の授業で児童が「自分で考える場面」、「考えたことを表現する場面」、「よりよい表現を知る場面」、「評価される場面」を大切にしていまいます。
- ・これまで全学年で毎週金曜日に取り組んできた『読解力プリント』の内容に、言葉の特徴や使い方に関する問題と、複数の条件に合わせて記述する問題を加え、課題の改善に向けた継続的な取組みを進めてまいります。
- ・語句の意味を文の中で正しく理解できる力を高めるため、授業中に語句の意味を問いかけたり、辞書やタブレットを使って語句の意味を調べたりする機会と、語句の意味を問う練習問題に取り組む機会を増やしてまいります。
- ・同音異義語が多い語句の漢字でも、文の中で正しく使えるよう、語句の意味や使い方を確認したうえで、漢字の練習に取り組めるようにしてまいります。
- ・国語の授業に限らず、自分の考えを書く場面では、複数の条件を示し、それらの条件に合わせて考えをまとめる機会を増やしてまいります。
- ・四則混合の計算や、分配の法則を使った計算、工夫することで簡単にできる計算など、授業中はもちろん、朝の学習や家庭学習で様々な計算問題に取り組めるようにします。また、算数などの授業では、問題を解決するための方法や、式や結果の意味を児童が説明する場面を大切にしていまいます。

5. 保護者・児童のみなさんへ

<児童のみなさんへ>

6年生のみなさん、4月に行った「全国学力・学習状況調査」と「すくすくウォッチ」では、最後までねばり強く取り組みましたね。学習面でも生活面でも、やらなければならないことに対して、途中で投げ出すことなく、最後まで努力を続けられる人たちです。学校のリーダーとしても、学校みんなのためにがんばってくれています。6年生全員が「いじめはいけないことだ」「人の役に立つ人間になりたい」と考えているところや、読書が好きな人が多いところもすばらしいと思います。そんな学年全体の良さとともに、6年生一人ひとりには、それぞれの良さがあり、一人ひとりの力は着実にのびています。人と自分を比べるのではなく、自分のよさを認めてください。そして、これからも、「自分を大切に、周りの人も大切に」ということと、「自分で考え、自分で行動する」ということを大切にしながら、楽しい学校をつくっていきましょう。

三小のみなさんは、どの学年の人たちも落ち着いて学習し、音読や読み取り、話し合いなどもがんばっていますね。先生たちも、みなさんが「学校で学習することは楽しい」と感じられる授業になるよう努力していくので、みなさんも、学習の楽しさを見つけてください。また、自分の考えを書いたり発表したりする力や、細かいところにも気を付けて読む力は、生きていくうえでも必要な力なので、のばしていきましょう。また、提出物を自分で忘れずに出すことや忘れ物をしないようにすること、宿題を毎日やりきる力も大切な力です。これらの力も、のばしていきましょう。

<保護者のみなさまへ>

家庭における「早寝、早起き、朝ご飯」の習慣や、ゲームや動画視聴の時間、SNSを使う場合のルールを決めるといったことは、子どもたちの成長のため、とても大切なことです。学習の意欲や定着にも、深く関わっています。課題がある場合は、この機会に見直し、改善させてください。

どの子も無限の可能性を持っています。学校と家庭、地域で力を合わせ、一人ひとりの可能性を広げ、社会でたくましく生きていくための力をのばしていきたいと考えています。今後とも、ご協力をお願いします。